

西山の里・桃源と花菖蒲



(表紙写真提供：常陸太田市)

「西山の里・桃源」は、水戸藩2代藩主徳川光圀公の隠居処であった西山御殿跡（西山荘）の入口にある休憩施設です。施設内には200名を収容できる飲食スペースをはじめ、観光案内コーナーやお土産品の販売所などがあります。

西山御殿とは、光圀公が元禄3(1690)年から没するまでの10年間を過ごした場所で、現在は国の史跡及び名勝に指定されています。

光圀公は、西山御殿への入り口に架けた橋を「桃源橋^{とうげんきょう}」と名付けました。このことから、この地を理想郷と考えていたことがうかがえます。

西山御殿と西山の里・桃源を結ぶ約8,000㎡の敷地には、不老池や桃源橋をはじめ、「晏如^{あんじょ}」という安らかで落ち着いた様子を表す意味が込められた茶室・晏如庵を配した日本庭園が整備されています。

庭園には四季折々に咲く植物が植えられ、特に梅雨空の6月には、美しく艶やかに咲く20種、約3,000株もの花菖蒲に出会うことができます。

今年は6月10～25日にかけて「花菖蒲祭り」が開催される予定で、期間中にはしっとりした雰囲気の中、美しい音色を楽しめる庭園コンサートなどを楽しむことができます。

また、日が暮れる頃になると、地元の市民団体より提供された行灯に光が灯り、花菖蒲の彩りをさらに美しく、幻想的な姿に変えていきます。

ご家族・ご友人とともに、艶やかな花菖蒲が照らされる姿をご覧になってはいかがでしょうか。



- ◆場所：西山の里・桃源
- 住所：常陸太田市新宿町576
- アクセス：
 - 【電車】 JR水郡線「常陸太田駅」からタクシーで約5分
 - 【車】 常磐自動車道「日立南太田IC」から約30分